

2019年5月21日

電源開発株式会社 代表取締役社長 渡部 肇史 様

瀬戸石ダムを撤去する会

共同代表 出水 晃、上村 雄一、緒方 俊一郎

連絡先 869-0222 熊本県玉名市岱明町野口 927 土森方

TEL:080-3999-9928 FAX:020-4668-3744

## 熊本県・瀬戸石ダム問題に関する申入れ書

私たち、瀬戸石ダムを撤去する会は2014年に設立され、熊本県南部を流れる球磨川に建設された瀬戸石ダムが引き起こす問題の解決を流域住民サイドから取り組んでいる団体です。

かつて流域住民にとって、球磨川は文字通り宝でした。澄んだ豊かな流れとともに、鮎を始めとする多くの魚が群れ泳いでいました。球磨川はとりきれないほどの魚を流域住民にもたらしめました。また流域住民は、川で泳いだり遊んだりしていました。流域住民の生活は川とともにあったのです。

流域住民を川から遠ざけたのはダムです。1955年完成の荒瀬ダム、1958年完成の瀬戸石ダムなど球磨川水系には多くのダムが建設され、それまで川と密接に結びついていた流域住民の暮らしも激変しました。ダムは水害を引き起こし、流域住民の家や財産を奪いました。ダムが出来る以前には水害という言葉はありませんでした。ダム湖からの放流やダム湖の水位上昇により、ダムは球磨川を水害常襲地帯に変えてしまったのです。また、水質悪化をもたらし、ダムができるごとに生き物は減り、球磨川や不知火海の漁獲高は激減していきました。

ダムがもたらす弊害は様々ですが、貴社が管理運営している瀬戸石ダムはダム湖の土砂堆積が進み、このことにより、これまでもダム湖周辺地域でたびたび水害が発生しています。昨年も7月7日、前日からの豪雨により芦北町吉尾地区や簞瀬地区の県道が冠水し、通行が出来なくなりました。

国土交通省は、ダム施設及び貯水池が適切に維持管理され、良好な状態に保持されているかなどを確認するため、瀬戸石ダムの定期検査を2年に一回行っています。その結果、15年間8回連続「ダム湖の堆積土砂により洪水被害が発生する恐れがある」として「総合判定A」（以下A判定）の判断を下し続けています。このようにA判定を受け続けているダムは瀬戸石ダム以外にないと国交省も認めています。日本一、最悪のダムが貴社の瀬戸石ダムなのです。A判定を受け、貴社は堆砂処理計画を国交省に提出し、洪水被害を無くすために「昭和56(1981)年相当河床」を目標に、土砂撤去工事を2022年度まで行うことにしていますが、昨年9月27日、熊本県・人吉市での貴社との交渉の席で、堆砂処理計画が計画通り実施されたとしても、道路の冠水被害は無くならないことが明らかになりました。

私たちは、これまで瀬戸石ダム湖周辺住民の聞き取り調査を行ってきました。複数の住民の証言や写真集の中にある瀬戸石ダム建設に伴う、住民の移転の様子を映した写真により、瀬戸石ダムのない頃の河床は、現在より少なくとも4m以上、下にあったということ

が分かりました。水害を無くすには、ダム湖の水位を低下させ、河床をダムの無い頃の高さに下げる必要があります。貴社の目標とする「昭和 56(1981)年相当河床」では水害を無くすことは出来ません。

私たちは、このダム湖の堆砂問題に主に取り組んで来ましたが、ダムがある限り堆砂問題を解決することは出来ません。また、球磨川の治水対策上、中流域に球磨川の流れをせき止め、大量の水を溜め込み、水位上昇をもたらす構造物があるということは、大きな障害です。

球磨川や不知火海の再生にとって荒瀬ダム撤去の効果は、計り知れないものがあります。全く歩けなかった河口干潟は、砂が供給され始めるとともに、人が入れるようになり、多くの市民がアナジャコ捕りを楽しめるようになりました。稚魚の育つアマモ場は、荒瀬ダム撤去後、次第にその面積を広げています。そのことにより、イカやサヨリが卵を産み付け、えび、うなぎ、底モノと呼ばれる魚も増えています。ダムがあった時は、30cmほどにしか伸びなかった天然の青ノリは、ゲート全開とともに伸びはじめ、すぐに1.5mほどに成長するようになり、今では3m～4m程に成長するようになっていました。熊本県の調査でも、川の底生生物は荒瀬ダム撤去前と比較して7倍に増えたことが明らかになっています。清流と豊穡の海の復活はただの願望ではありません。この熊本で、実際に起こったことなのです。しかし、上流の瀬戸石ダムが存続している限り、その効果は徐々に失われつつあります。これらの問題を解決するには、もはや瀬戸石ダムの撤去しかありません。

貴社は、2018年度の連結決算（2019年3月期 決算短信）でも、売上高8,973億円、純利益462億円という莫大な利益を計上しています。そのような大企業が社会的な責任を全うせず、地域住民に弊害を押し付けたままの状態にすることは、許されることではありません。逆に、これらの利益の一部を、瀬戸石ダムの撤去費用に当て、瀬戸石ダムを撤去すれば、流域住民は大歓迎するでしょうし、地域の活性化にも大きく貢献できます。また、このことにより、貴社の社会的な評価が高まることは論を俟たないところです。

つきましては、貴社に下記の通り、申入れいたします。

#### 記

##### 申入事項

1. 瀬戸石ダムを撤去すること。
2. 1の撤去工事に着手するまでの間、ダム湖に堆積した土砂を全て撤去し、ダムの無い頃の河床にすること。
3. 貴社によると芦北町の赤尼田仮置き場が今年度で満杯になる予定だが、そうなる前に貴社が行っている土砂撤去工事が行き詰る。早急に新しい仮置き場を見つけること。
4. 水害常襲地帯である芦北町簸瀬地区の球磨川の左岸や川の中央部分の土砂を撤去すること。

以上